

第104号

令和7年12月
発行

まなぼら



Contents

特集

世代を超えてつながるまちへ

元気人

団体ボランティア 田村 洋子さん

防府市生涯学習課のイチオシ

●令和7年度第1回生涯学習ボランティア養成講座 参加者募集

●報告♪ほうふ幸せます人材バンク

防府市社会福祉協議会のイチオシ

●小野小学校で福祉教育を行いました！

●障害者レクリエーションを開催しました！

防府市市民活動支援センターのイチオシ

●登録団体活動紹介♪

世代を超えてつながるまちへ

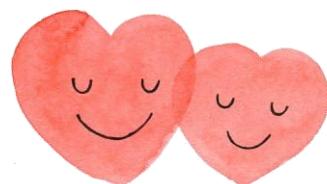
10月30日(木)、市市民活動支援センター主催の『多世代コミュニティが創る未来の街づくり』講演会に『まなばら』編集部のスタッフ全員で参加しました。誰もが安心していきいきと暮らせるまちづくりのために、地域のコミュニティと密接に関わる事業に取組んでいる市生涯学習課、市社会福祉協議会、市市民活動支援センターの3機関がどのような視点で支援していくとよいのか、講師の松田智生さんの話から考えていきます。

「あなたにとっての“生きがい”は何ですか？」

講演会の冒頭、松田さんから「あなたにとっての“生きがい”は何ですか」と問い合わせがありました。その後、“生きがい”を見つけられた方の例として、ご自身のお父様がゲストティーチャーとして地域の小学校で6年生にまちの歴史を教えられたという話をされました。歴史の講演の翌週、再び招かれた学校でこどもたちから講演の感想を聞かれたお父様は、誰かの役に立つことに“生きがい”を感じられたそうです。感想発表会は保護者も参加する多世代交流の場であったとのことです。

「ありがとう」という言葉で「またやりたい」という気持ちに

「ありがとう」と人から言われた経験は、誰にでもあるのではないでしょうか。「ありがとう」と言われると、自分が貢献している、認められているという欲求が満たされます。そうした気持ちは、「また、この人のために、何かをしてあげたい」という気持ちにつながるように思います。



事例① ふれあい・いきいきサロンでの多世代交流

『サロンパンチ』の事務局である中司さんは、「災害時、顔を知っている誰かがいるということは大きな安心につながる。そのつながりが必要」とおっしゃっていました。サロンという居場所の中で地域同士の顔がつながり、地域がつながります。多世代がつながることで、高齢者は活力をもらうことができ、こどもは思いやりや地域文化を知ることができます。世代を超えた交流で、支え合い、学び合いが生まれ、地域のつながりと活力をさらに深めることができます。



事例② 放課後子ども教室での多世代交流

放課後子ども教室では、地域団体や地域にお住まいの方、保護者の方、講師の方のつながりが、こどもたちの活動を支えています。佐波放課後子ども教室運営委員長の小山さんは、「こどもたちは教室を学びの場として捉え、講師の方だけでなくスタッフのことも『先生』と呼んで慕ってくれる。こどもたちの笑顔に私たちも元気をもらっている」と話してくださいました。世代間の交流を通して、地域への愛着や他者への思いやりを育み、地域をつなげる放課後子ども教室は、素晴らしい多世代コミュニティであると改めて感じました。



事例③ ほうふ市民活動フェスタでの多世代交流

市市民活動支援センター登録団体である西浦焼愛好会が、防府商工高校生徒 6 名を受け入れ、市民活動フェスタの準備と当日運営を行いました。「どうやったら西浦焼を多くの方へ広めることができるのか？」生徒たちが団体の方と考えた結果、クイズを作成することになりました。当日は予想よりも多くの方が来場され、これまで関わる機会のなかった親子連れの層に西浦焼を P R することができました。高校生と一緒に活動したこと、これまで西浦焼愛好会の皆さんだけでは無かった発想が生まれました。



3機関が支援する『多世代コミュニティ』のかたち

『多世代コミュニティ』について考える中で、『まなばら』編集部の 3 機関が行っている事業を改めて見てみると、それぞれが行っている事業の多くが既に『多世代が交流する事業』であることに気がつきました💡



3機関が行っている事業例

- ◆ほうふ市民活動フェスタ
- ◆個人と団体とのボランティアマッチング
- ◆障害者体育大会
- ◆3 世代交流事業
- ◆防府市青少年育成事業
- ◆学ぼうやセミナー
- ◆防府市生涯学習フェスティバル
- ◆ふれあい・いきいきサロン

こうした事業を通して『多世代コミュニティ』の活動をより促進していくため、運営に携わる方々が集まるだけでなく、交流できる場をつくったり、個人や団体が抱える困りごとを聞き取り、他者や他団体、企業とのつながりを新たにつくったりすることで、これまでより一段階上の支援ができるのではないかと考えました。



『多世代コミュニティ』は、私たちの身近なところに数多く存在しています。会合やイベントなどでは、多世代交流を意図して企画されることもあるれば、意図していない多世代が集まることがあるのではないかでしょうか。

“世代を超えてつながるまち”的に、これから 3 機関が行うべき支援は、『多世代や多業種の人たちが出会い、交流できる場の創出』だと考えます。普段の聞き取りや相談対応を大切にしながら、新たに人と人が出会える仕組みづくりを支援していきます。



団体ボランティア

『ミニミニサロン沖の原』代表の田村さんは、11月末までは民生委員・児童委員としても活躍されていました。日々精力的にボランティア活動に取組んでおられる田村さんにお話を伺いました。

Q ボランティア活動を始めたきっかけは？

放課後子ども教室に保護者として参加していたとき、「ボランティアとして参加してもらえないか」とお声がけいただいたことです。教室には多くのボランティアの方が参加されており、「無償で誰かのために行動している人がこんなにいるんだ」と衝撃を受けました。教室の活動のつながりで民生委員・児童委員を務めるようになり、高齢の方の移動の大変さなど、ご苦労を知りました。

Q 『ミニミニサロン沖の原』ではどのような活動をされていますか？

自治会館などを借りて、主にものづくりを行っています。一番の目的は“みんなが楽しめること”です。ものづくりの合間におしゃべりをする、そんなひと時を楽しめる居場所をつくっています。Q 活動で大切にしていることは何ですか？

みなさんに楽しい時間を過ごしてもらうため、準備の手を抜かないことです。準備次第で活動は良くも悪くもあります。次回に何をするかを話すことができれば、参加までの時間も楽しい気分になれます。私自身、準備が楽しいですね。

活動の原動力は何ですか？

サロンに来ていただいた方に、「やめないで」「生きる目標がなくなっていたけど、これで目標ができた」と言ってもらえたことです。誰かの生きがいや希望となる居場所をつくれたことが本当に嬉しかったですし、やりがいを感じています。

Q 今後目指したいことや目標を教えてください！

誰でも気軽に参加できる居場所にしていきたいです。高齢者だけでなく、若い方も大歓迎です。高齢の方は移動手段がないことが多いので、地元の方は送迎を行うこともあります。

Q これからボランティア活動へのチャレンジを考えている方に向けてメッセージをお願いします！

毎日時間に追われて自分のことだけでも精一杯なのに、人のことを考える余裕がないと誰もが思うでしょう。それでも、その忙しい日々の中で、人のために時間と気持ちを使うことを体験してみて欲しいです。自分が何か変わったという実感が、自身の成長にもつながるような気がします。お金のためなどではなく、誰かのために行動したいという気持ちが芽生えれば、自然に行動に移せますよ。

防府市生涯学習課



令和7年度第1回生涯学習ボランティア養成講座 参加者募集



けん玉名人がそっと教える 上達、考え方のコツ

放課後子ども教室や留守家庭児童学級（クラブ）など、子どもに関わるさまざまな活動をされている方々のスキルアップを図り、ボランティア同士の交流を深める有意義な講座です。子どもと触れあうボランティアに興味がある方やこれから活動を始められる方も気軽に参加してみませんか。お子さんと一緒に楽しく学びながら、ボランティア活動の現場で活用できるさまざまなアイデアを見つけましょう！

内 容 けん玉の魅力や上達のポイント、いろいろな遊び方を通じた仲間づくりなど
対 象 主に子どもを対象としたボランティア活動に関心のある方、けん玉に興味のある小学生
日 時 令和7年12月21日（日）10:00～11:15
会 場 ルルサス文化センター 交流室4
講 師 上重 卓広さん（ほうふ幸せます人材バンク「指導者バンク」登録講師）
定 員 30名（先着順）
持 参 物 けん玉（お持ちの方）
参 加 費 無料
申込期日 令和7年12月12日（金）
申 込 み 右記の二次元コードからお申し込みください。
問 合 せ 市生涯学習課 TEL（0835）25-2922

ご参加をお待ちしています♪



報告♪ ほうふ幸せます人材バンク

指導者バンク登録講師 高橋 一正さん『ヴァイオリン演奏』

11月13日（木）、華浦地区の石が口会館でふれあい・いきいきサロン『桑松会』が開催され、『指導者バンク』に登録されている高橋一正さんがヴァイオリンの演奏を披露されました。

前半は、高橋さんのヴァイオリンと伴奏者の益田勢津代さんのチェロに合わせ、『ふるさと』、『浜辺の歌』、『早春賦』などの懐かしい童謡や唱歌のほか、『エーデルワイス』や『マイボニー』、『サンタルチア』といった馴染み深い外国民謡を参加者全員で合唱しました。

後半は、『ロンドンデリーの歌』や『タイスの瞑想曲』など心に響く曲をチェロやピアノの伴奏で演奏され、時に優雅で、時に軽やかなヴァイオリンの歌うような音色に会場全体が包み込まれました。

終了後、参加者の方からは、「普段はなかなか歌を歌うことがありませんが、今日は気持ちよく歌うことができました」、「ときにはこうして楽器の演奏にゆっくり耳を傾ける時間もいいですね」などの感想が聞かれ、和やかで心豊かな時間を過ごされた様子がうかがえました。

高橋さんは、「声を出して歌うことで、明るく、楽しく、元気に過ごせます。ヴァイオリンの演奏を通して、皆さんのが歌うきっかけをつくることができれば嬉しいです」とおっしゃっていました。





「だれもがワンボラ運動」
つぼみちゃん



小野小学校で福祉教育を行いました！

市社会福祉協議会では、主に小学生を対象に福祉教育を行っています。普段は車椅子やアイマスクを使う体験を行っていますが、小野小学校は児童数が少ないこともあり、今回初の試みとして、インクルーシブスポーツであるボッチャ、カローリングも体験してもらいました。

ボッチャ、カローリングの様子です。車椅子に実際に乗りながら競技を行ったり、車椅子に乗った地域の方をサポートしたりしました。児童だけでなく、地域の方も本気になって競技に取組んでいました。障害の有無に関わらず、工夫をすれば誰でも参加できる、そんなインクルーシブスポーツの良さを分かってもらえたのではないでしょうか。



車椅子体験の様子です。実際に体験することで、障害がある方の生活の様子や苦労を知り、自分にできる手助けや助ける心を学んでもらうことを目的にしています。

児童は、小さな段差も一人では超えることができないことや坂を上る時の大変さを知り、障害についての理解が深まったのではないでしょうか。

障害者レクリエーションを開催しました！

9月7日（土）、知的・視覚・聴覚障害者とその家族の方を対象に周南市にある福田果樹園にて野外レクリエーション（なし狩り）を開催しました。スタッフを含め総勢121名が参加しました。晴天の下、ボランティアの方々の協力により、参加者の皆さんがあいあいとした笑顔でなし狩りを楽しむ様子が見られました。

保護者の感想

なしを美味しそうに、沢山食べていた。お友達ができた。おなかいっぱい食べてニコニコだった。お弁当に好きなのが入っていて喜んでいた。



初めて家族でなし狩りをしました。面白かったです。初めて娘がなしをむきました。



家族みんなで楽しい時間を過ごすことができました。



防府市市民活動支援センター



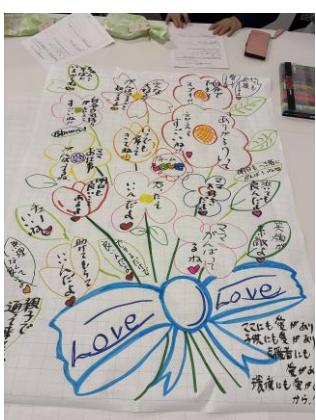
登録団体活動紹介♪ ほうふ子育て支援ネットワーク

ほうふ子育て支援ネットワークフォーラム ～学び合い つながり合い 安心安全の子育てを～

10月23日(木)、防府市役所8階防府市文化センターで、ほうふ子育て支援ネットワーク主催『ほうふ子育て支援ネットワークフォーラム』が開催されました。

ほうふ子育て支援ネットワークには、30団体・グループが所属し、年に一度、一堂に会して、学習や情報交換、交流を進めることにより、今日的課題の共有をすること、団体相互の連携を深めること、防府市を安心・安全・楽しさ倍増の子育て環境のまちにすることを目的に活動されています。

演題 共創ウェルビーイング～みんなでつむぐ幸せのエンパワメント科学～



▲やさしい言葉で彩られた
大きな言葉の花束



▼グループワークの様子

フォーラムでは、講師の安梅勲江さんから、子育て支援をする中で、相手の良いところを見つけて伝える、相手を認める、受け止めることの大切さについて話がありました。相手の状況を深く理解することは、信頼関係の構築につながります。最後は、グループごとに分かれて“親子に伝えたい大きな言葉の花束”を作成しました。

登録団体活動紹介♪ ほうふ里海づくり協議会 やまぐち水循環再生シンポジウム

11月12日(水)、防府市地域協働支援センター多目的ホールで、ほうふ里海づくり協議会主催『やまぐち水循環再生シンポジウム』が開催されました。

ほうふ里海づくり協議会は、藻場減少の原因でもある、海藻を食い散らす魚“アイゴ”をおいしく食べて、豊かな海を守る海づくりをコンセプトに、海域の藻場の保全・再生の取組を進められています。シンポジウムでは、(一社) 地球守・有機土木協会代表理事の高田宏臣さんによる講演、高田さんと前国土交通省砂防部長の草野慎一さんや日本大学理工学部土木工学科教授の安田陽一さんによるパネルディスカッションが行われました。

海と山と川のつながり

高田さんは講演の中で、「山の上で行っていることが川に影響を与え、川で行っていることが水の状態を変えて、海に影響を与える」と話されました。この言葉は、それぞれの環境はつながりがあることを理解するために大切な言葉だと思います。ほうふ里海づくり協議会は、今後も防府の海から“地球環境”について発信していきます。



▲やまぐち水循環再生シンポジウム

information

時 時 間 場 場 所 内 内 容 対 対 象 人 定 員 ¥ 参 加 費 持 持 参 物 申 申込み 問 問合せ

1/11
(日)

団体基盤強化講座
超初心者向けCanva講座

時 13:00~16:00

場 市地域協働支援センター 研修室2

内 無料デザインツールCanvaを使って、基本的な機能（テキスト・素材・テンプレートを入れる等）を1つずつ確認しながら触ります。

対 どなたでも 人 15人 ¥ 1,000円

申 右記二次元コードからまたは



問 市市民活動支援センター
TEL (0835) 38-4422

1/31
(土)

団体基盤強化講座
助成金申請のポイントを聞こう！

時 13:30~16:30 ¥ 無料

場 市地域協働支援センター 研修室2

内 助成金申請を経験しているNPO団体の体験談を聞いた後、山口きらめき財団の方から助成金申請のポイントについてお聞きます。

対 NPO・地域活動等されている方 人 15人

申 右記二次元コードからまたは



問 市市民活動支援センター
TEL (0835) 38-4422

編 集 後 記

この度10月に市役所に入所し、まなばらを担当させていただくことになりました。民間の仕事とは全くすることが異なり、日々あたふたしていますが、1日でも早く市民の皆様のお役に立てるよう頑張ります！(I)

募集締切
1/16
(金)

第32回防府市生涯学習フェスティバル
第28回「学ぼうやコンテスト」イラスト作品募集

「ワクワクが動き出す～ワクワクしちゃうことを描こう～」をテーマに「学ぼうや」や「学ぼうや家族」を入れて描いたイラストを募集します。



対 どなたでも

(学ぼうや家族)

内 横向きのハガキまたはハガキと同サイズの画用紙（色は問わない）にイラスト（クレヨン、色鉛筆、水彩など何でも）を描き、作品の裏面にタイトル・住所・氏名・電話番号（園児の場合は園名、児童・生徒の場合は学校名・学年）を記入して提出

市HPはこちら

申 問 防府市生涯学習フェスティバル実行委員会

【事務局】市生涯学習課 生涯学習係 TEL (0835) 25-2922

詳細については、市HPをご覧ください。



募集締切
1/16
(金)

手話初心者大歓迎！！
市民手話講習会

時 昼の部 10:00~11:30 夜の部 19:00~20:30

場 市役所2階 共用会議室2Aまたは2C
夜の部 市創業・交流センター2階 会議室2

人 各部20名（先着順） ¥ 無料

内 令和8年2月4日から3月18日の毎週水曜日（祝日を除く）に初心者向けの手話講座を開催します。

対 市内在住の高校生以上で手話（初級）に興味・関心のある方

昼の部・夜の部どちらかの全日程に参加できる方

申 右記二次元コードからまたは市社会福祉協議会に直接電話

問 TEL (0835) 22-3907



申込みはこちら

『まなばら』は、3機関が協働で編集している情報紙です。

発行月は6月・9月・12月・3月です。

先日、福祉バーレーボール大会に参加しました。結果は、初戦敗退となってしましましたが、敢闘賞をいただきました！これから練習がなくなってしまうと思うと少し寂しい気分です。(K)

ハロウィンが終わると、すぐにクリスマス、おせち商戦が始まりますね。年末に向けて慌ただしい雰囲気がでてきているなと感じます。12月は体調を崩さず乗り切りたいです。(F)

防府市教育委員会教育部生涯学習課
生涯学習相談コーナー



〒747-8501
防府市寿町7-1
防府市役所 本館8階
(0835)25-2922
(0835)23-3011
shougai@city.hofu.yamaguchi.jp

防府市社会福祉協議会
(ボランティアセンター)



〒747-8501
防府市寿町7-1
防府市役所 福祉棟2階
(0835)22-3907
(0835)25-1388
fureai-net@hofushishakyo.jp

防府市市民活動支援センター



〒747-0035
防府市栄町1丁目5-1
笑顔満開通り ルルサス防府2階
(0835)38-4422
(0835)24-7733
shimin@hofu-saport.org